

# 野生鳥獣による農作物への被害及び捕獲頭数から見たジビエ利用状況

## 【鳥獣被害状況】

○令和3年度の鹿児島県内における野生鳥獣による農作物の被害額は約3億円で、そのうち約7割がニホンジカとイノシシの被害で2.2億円程度。

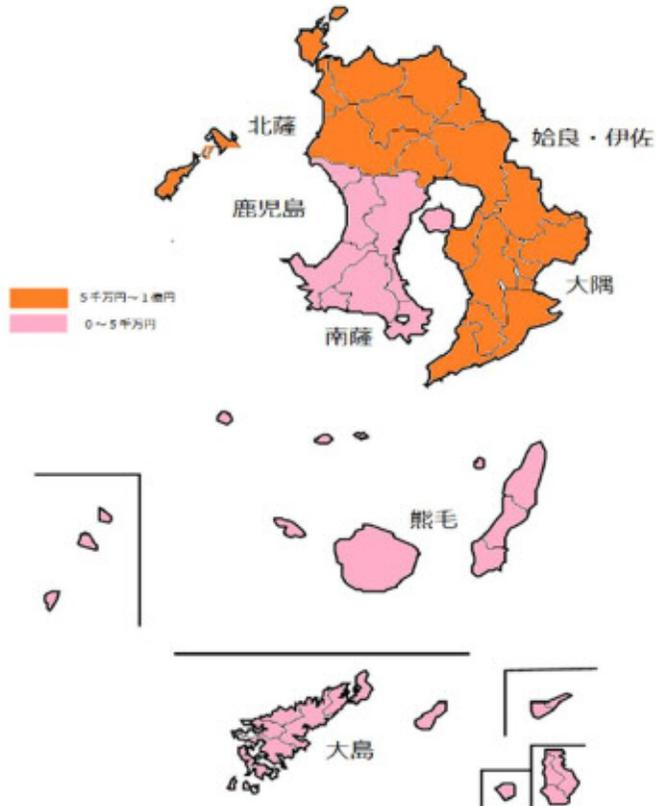
## 【ジビエ利用状況】

○令和3年度、鹿児島県内の食肉処理施設で解体されたシカは捕獲頭数の7.5% (1,974頭)、イノシシは捕獲頭数の1.7% (447頭)と全国と比べてもジビエ利用が少ない状況。解体されたジビエ肉は精肉・加工品として販売されており、ふるさと納税の返礼品にも活用されている。

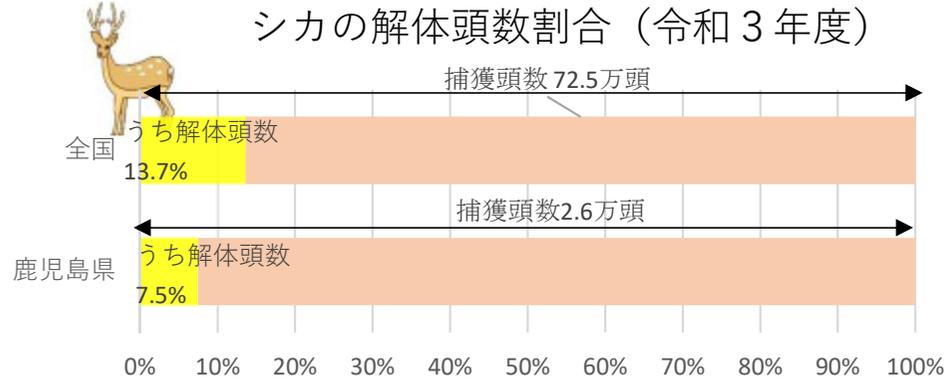
○鹿児島県拠点では、広報誌「鹿児島県内のジビエを食べよう」を発行し、ジビエ食への理解醸成を図っています。

鹿児島県の野生鳥獣による農作物被害額  
(単位：百万円)

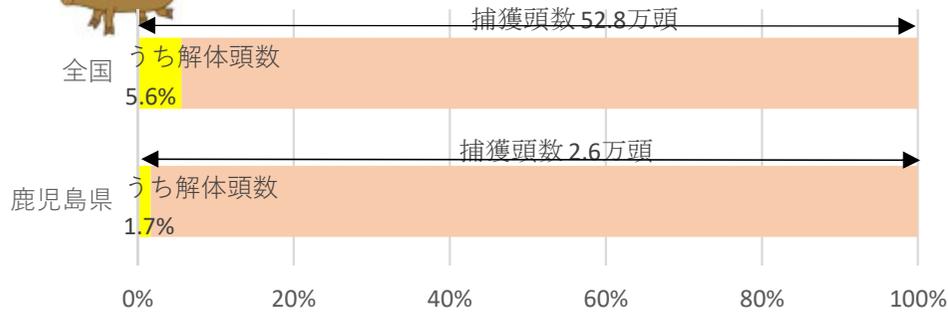
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
被害額	387	376	526	397	333
ニホンジカ	95	85	86	64	48
イノシシ	178	177	228	195	171



## シカの解体頭数割合 (令和3年度)



## イノシシの解体頭数割合 (令和3年度)



## ジビエ加工品



<鹿肉ジャーキー>



<鹿肉大和煮>

## 鹿児島県内のジビエを食べよう



令和5年6月  
九州農政局鹿児島県拠点

広報誌「鹿児島県内のジビエを食べよう」

出典：「鳥獣被害防止対策推進会議資料」(鹿児島県)  
「捕獲数及び被害等の状況等」(環境省)  
「野生鳥獣資源利用実態調査」(農林水産省)